

令和5年度保護者からの放課後等デイサービス事業所評価結果

公表日: 令和6年3月1日

事業所名 こだま 保護者数(児童数)23名 回収数 17名 割合 74%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17	0	0	0	・広く清潔感に溢れていて、子どもたちがわくわく出来るような空間が確保されていると思います。	ホールやプレイルーム等に加え、利用児童が個別課題に取り組めるワークルーム等、活動に合わせた場所とスペースが確保されています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16	1	0	0	・いろんな特性のある子ども達一人ひとりに注意を注ぎながら対応するためには、配置数の面では足りないと感じる程、スタッフの方々は大変だと思いますが、そこは適切な専門性を発揮できるスタッフが揃っているので、安心して子供を預けることが出来ています。	今後も職員一人ひとりの役割を認識し、専門性を高め、個性を活かす支援をします。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	17	0	0	0		安心・安全にご利用いただけるよう、定期的に行っている施設備品等安全点検をはじめ、適切な修繕を実施します。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	3	0	0	・面談の時に計画書が出来ており、(それにサインをすと言うことは)その時の本人の状況が反映されないのでは。面談の内容が取り込んでもらえるのか心配です。 ・面談などがあり、家族・スタッフ間の共通認識を確認したうえで計画を立てて下さっています。	個別支援計画の作成には、利用児童と保護者様のニーズをしっかりと聞き取り、ご相談とご説明をさせていただいた上でご承認いただきます。また、支援期間中であっても利用児童の状況を踏まえた変更改善をすすめて対応します。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	1	0	0	・活動内容、こだまよりなど、いろいろ工夫されていて、子どもたちの楽しみ様子が伝わってきます。	保育士、児童指導員等の立場から、利用児童に必要な活動・経験がなされるようプログラムの組み立てを行います。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10	2	4	1	・本人お休みの日に交流されているのかもしれませんが。(いいえを選択)	現在、こだまが立地している津幡小学校校区の学童保育と交流をはじめています。ご利用の曜日によってはご参加いただけていないことがあるかもしれませんが、今後、ご利用の皆さまと交流がはかれるようにすすめていきます。また、こだまよりやホームページを通して交流の様子を発信します。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1	0	0		送迎時や事業所迎え時、連絡帳などをとおして、丁寧なご説明を心がけてまいります。支援にかかる重要な内容については、担当責任者から直接のご訪問やお電話で対応します。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	0	0	0	・送迎時、当日の出来事・様子など詳しく伝えて下さり、親身になって聞いていただき感謝です。	日頃から、小さなことでもご連絡・相談していただけるような雰囲気と職員の対応に努め、ご信頼がいただけるよう行動します。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1	0	0	・面談の回数は減っているのかなと思います。	年2回、若しくは必要時に面談を行っています。定期的におこなえなかった部分は反省し、ご心配のないよう面談を実施します。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	5	5	1	・自分がなかなかそういう活動があったとしても参加できる状況にない為。(どちらでもないを選択) ・私自身がなかなか参加できずすみません。	令和5年度は、「ピザづくり」と「七夕のつどい」をとおして保護者同士が顔合わせできる機会を設けました。今後は、より保護者同士の交流が深まる行事を開催します。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	2	0	0	・特に苦情などありませんが、何か気付いた事があればすぐに対応して下さっています。	重要事項説明書等に第三者委員の連絡先も掲載しております。苦情など直接言い辛いことがあればご連絡ください。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	0	1	0		利用児童の特性を理解し、視覚支援等を用いるなど、意思疎通に配慮し支援をおこないます。足りない部分を反省し、送迎等でお会いする機会や連絡帳をとおして、保護者が聞き取りたい内容やリアルタイムな情報の交換を行います。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	0	0	0		今年度はよりリアルタイムな情報をお届けできるようお便りを毎月発行してまいりました。今後も発信方法を工夫してお知らせいたします。事業所自己評価アンケートについて、年に1回、利用者へは書面にて配付し、ホームページでも公表します。
	14 個人情報に十分注意しているか	17	0	0	0		法人内の個人情報管理規則に則り、個人情報の管理を行います。
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	1	0	0		法人のマニュアルについて、保護者に周知・説明の機会を設けます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	0	0	0	・定期的に訓練が行われ、繰り返すことで子どももパニックにならずに、行動する知恵を身に付けることが出来て嬉しそうです。	法人の非常災害時マニュアルに則り訓練を実施しております。保護者にもご参加を頂いています。利用児童においては、訓練実施日に偏りがないように配慮し、訓練を実施します。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	3	0	0	・春・夏・冬休みに入っても、朝から気持ち切り替えて、今ではすんなり玄関に向かう姿を見て、楽しい居場所を見つけたのだと安心しています。 ・毎日本当に楽しみにしていて色々な話を聞かせてくれます。こだまさんには本当に感謝しています。	利用児童は、利用日にこだまを思い浮かべ、何をしようと思って来ているのだらうと思いを馳せ、その楽しさが達成され、「また、こだまへいこう!」と思ってもらえる支援を行います。
	18 事業所の支援に満足しているか	16	1	0	0	・スタッフの皆さんが一丸となって子どもたちのために支援してくださっているのが伝わります。大変満足し感謝しています。 ・皆さんで可愛がって下さり、出来たことを心から一緒に喜んで褒めて下さり、おかげ様で子供は楽しんで通えています。家庭ではなかなかできない、子供同士、人と人の関わり合いの中で、社会性を学べていると思って、大変満足しています。いつもありがとうございます。	これまで過ごしたあと、充実した気持ちで、落ち着いて帰ることができますように、日々を大切に支援を行います。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等にに応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。